

視聴覚センター行事案内

接写と複写技術の講習会

35ミリカメラを使つての接写と複写技術の講習会を開きます。

- ▶とき…9月11日(月)の午後1時から4時30分まで
- ▶ところ…視聴覚センター第1・第2研修室
- ▶講師…渡辺澄晴氏(日本写真家協会会員)
- ▶定員…30名
- ▶持参するもの…一眼レフカメラ、ストロボ、三脚、フィルム(モノクロ、20枚撮り)、筆記用具(接写用レンズやストロボの接続コード、それに自分作品のスライドフィルムがありましたらご持参ください)
- ▶申込み…視聴覚センター(☎2-0201)へ。なお定員になりしだい締め切りですので、お早めにどうぞ。

こどもと読書について考える

- ▶とき…9月13日(水)の午前10時から11時30分まで
- ▶ところ…図書館視聴覚ホール
- ▶内容…16ミリ映画「こどもと読書」の試写と、映画を見てのお話し会
- ▶対象…一般・PTA

映画鑑賞会

- ▶とき…9月20日(水)
- ▶ところ…図書館視聴覚ホール
- ▶第1部(午後3時30分～5時)
 - ▷対象…小学校高学年、中学生
 - ▷内容…劇映画2本
- ▶第2部(午後7時～8時30分)
 - ▷対象…高校・一般
 - ▷内容…記録映画3本

PTAが一日補導員



ゲームに興じる子どもに声をかける補導員

当市には二十名の補導員があり、毎日二人一組になって、繁華街や公園、飲食店、風俗営業所など青少年がよく集まる場所を巡回しています。しかし、限られた数の補導員だけでは、なかなか目がゆきとどきません。

そこで当PTAでは、昨年から各学校のPTAの方に「一日補導員」を体験

していただいています。青少年の非行が大きなきっかけでも多くなっているおりに、少しくとも多くの人から、青少年の健全育成にご協力を願うためです。

今年もこの「一日補導員」を、夏休みを中心に十回行いました。上の写真は十回行ったときの模様で、ゲームセンターで遊んでいる子どもたちに、「どこからきたの」「毎日きているの」と声をかける補導員です。家庭と社会が協力しあつて、非行を防止したいものです。



早く話し、てみたい
手話講習会開かれる

先月の二十五日、第三回の手話講習会の開講式が行われました。

ろうあ者の「ことば」手話を学ぼうと集まった人は白根や小須戸から来た人も含め三十人近く。特に若い人の姿が目立ちました。

ある女子高校生は「まだで困っているろうあ者を見て」また、ある主婦は「前にも受講したが、完全に覚えて早く話せるようになりたいから」と参加した動機を語ってくれました。

みなさんは、手話のボランティアをめざして、これから十二月末まで勉強を続け

お買物、ご用命は市内で

日曜大工用品販売
電動工具・大工道具・金物・木材他
休日 7日・17日・27日

木造住宅の新築でも修理でも
(株)新生工業
新町1丁目(ガス会社の前)
TEL 2-1873・夜 2-0315

祝儀・仏事菓子
ニイツ銘菓 雪かこい

駿河屋
ニイツ本町2 TEL(2)0543

銘菓 萩茶餅・松坂羊かん

田家屋
ニイツ本町4 TEL(2)0430

定時登録

選挙人名簿

縦覧

市選挙管理委員会では、選挙人名簿の定時登録と縦覧を次のとおり行います。

(定時登録)

今回選挙人名簿に登録される人は、九月一日現在で次の要件を有する人です。

- ▼日本の国籍を有する人
- ▼新津市の区域内に住所がある
- ▼引き続き三月以上二年以上五十二年六月一日以前から新津市の住民基本台帳に登録されている人
- ▼年齢が二十歳以上であること

住所などを、次の期間縦覧に供します。

日時…九月十二日から十五日まで(祭日も含む)の午前八時三十分から午後五時まで

▼市役所総務課



明治夜話

獲島で敗れた米沢兵をバツクアップして、翌八月一日に主力として戦ったのは会津藩の町野隊であった。だが、東北軍の多くは、官軍の再攻撃によって、八月二日に敗退して漸く三条に達し、加茂へ後退準備中であつたら、右の町野隊は長岡見附方面から逃れて来たのではなく、後方連絡部隊として加茂附近にいたもの、中越戦線で集結中の新発田兵(兵力六百余名、小銃三百三十七挺、砲五門)の動きを警戒して、加茂から小須戸に移動して来たものであつた。即ち、この会津兵は、「官軍が大失態へ上陸した

小阿賀野川の対戦(下)

阿達義雄

その時、焼けた戸数は本屋借家共に二百五十軒でありました。(柏大治著「小須戸風土記」)

この会津藩町野隊が小須戸から新津へ来て、獲島で戦つたに至つた事情は「累及日録」によると、

「此の日(八月一日)天来だ明けざるに町野隊新津に至りしに、米沢藩士馳せ乗りていふ。米沢、獲島の胸壁を守るに、昨夜、西兵の

組という下ツ葉の武士で三十六人でありました。これらの会津武士は水原方面から大砲の音を聞くと、東西の名主宅へ放火した上に、吉田宇平次といふ大富豪の宅へ軍資金を掠奪して行きましたが、その時は既に主人を始め、家族は逃げていなかったため、吉田家にも放火し、更に三番町の井上四代治氏宅にも放火しました。

襲撃する所となり、守兵殆ど無く。願はくば速かに兵を發して敵を撃て、我が兵之を誅して、能代川堤防上下の二道より馳せて之に赴く。村長の家、農兵を撃て、鐘を打ち、急兵を集めて我兵を拒がんとす。

忽ち農兵二人槍を掲げて出でたれば、我兵銃も放つて一人を斃し、一人は遁る。

岡場辰治、木本幸次郎は

兵數人を率ゐ、進んで村中二本木の渡口(小阿賀野川の渡口なり)に至り、村民等の小船二、三隻に西軍を乗せ、前岸に航せんとするを見て、我が兵之を射撃し、船夫を斃し、西軍皆水に没せり。

小時にして二本木の胸壁(これは水津の字三つ口の畷)より烈しく銃を發す。我が兵応戦、未の刻(午後二時)に至る。我が兵遠藤

にて車馬新田へ打ち渡り、岸に上り、一時の発声と共に砲発相成り候処、賊狼狽敗走す。之を尾撃して獲島新田に至り、賊徒一人、福知山隊にて討取り、首級を白倉民之助(これも二本木の庄屋)に預け本陣に送らしむ。

同地屯集の賊徒、畷を捨て新津町に走り、行路の人家尚ほ放火に罹れるもの若干、彈藥並びに刀、其他

種々分捕りあり、凱声一挙擧陣す。

とあつて、この方の記録が真に近いようである。

なお、順序が逆になつたが、今迄、兵が少なかつたためか、官軍にしては、荷銃運搬警衛係ばかり勤めさせられていた福知山隊が初めて戦闘に参加することを命ぜられ、勇躍して大夫濱から二本木に進発する時の村民の見聞談を紹介してみよう。

「福知山兵が村から出發する際、大通りに整列し、大太鼓、小太鼓、笛、鉦で唯し調子をとつて行進を起した時には、村中の老若男女が悉く見物して、その勇壯な姿に見惚れたものです。これは官軍お練込み四日後のことです。亀田から二本木の酒屋の会津軍攻撃に向つたのです。福知山兵が村に滞在されたのは、大小荷駄を警衛し、炊き出し、其他の運搬を指揮するためのようでした。」(戊辰古老談)

お買物、ご用命は市内で

カメラ 8ミリ 3回～20回払い
気軽なカメラクレジットをご利用下さい

株 コダカメラ店
新津市本町二丁目 ☎(2) 0583

御誕生祝から…御仏事まで
いけばな材料・盛籠・花束

新町1丁目大橋ギワ

小林生花店
TEL 2-1080・2-5707
(各流派いけばな教室案内所)